

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会

2021年度定時総会 議事資料

記

1. 日 時：2021年6月3日（木）10：40～11：20

2. 会 場： Zoom

3. 定時総会議事：

議事事項

第1号議案 2020年度事業報告、および決算報告書（計算書類）

第2号議案 2021年度事業計画、および予算案

第3号議案 理事全員任期満了につき21名選任の件

第4号議案 監事任期満了につき2名選任の件

第1号議案 2020年度事業報告、および決算報告書（計算書類）

1. 2020年度事業報告

(1) 全般的概況

2020年度は、計画に従い、会員企業の拡大、会員交流（分科会活動）及びセミナー・研修の活発化、コンサルティング事業の開始を目指しておりましたが、新型コロナの蔓延・緊急事態宣言の発出を受け、ABC協会も新年度開始早々2ヶ月ほど活動を休止し、新たな活動の在り方を模索しておりました。その結果、Zoom会議を活用した運営へと移行し、研究会活動を中心に活動を再開させております。しかし会員企業拡大に向けた取り組みについては不十分な活動に終わってしまっており、どの様に働きかけていくか、模索を続けております。

会員企業は、63社（2021年3月末時点、前年度61社）であり、分科会は前年度とほぼ同様の12分科会を開催することができました。セミナー・研修は、オープンセミナーを14回開催し、オーダーセミナーも2社にて3回開催致しました。

また連携活動してきました、『RPA+働き方改革コンソーシアム』は、RPA自体が広く普及したことを踏まえ、新年度より協会内組織として活動することと成りました。

これらの活動を通じ、収入は15.9百万を計上することができました。しかし、2020年度の当初計画に比べますと、研修・セミナー事業、調査・研究・コンサルティング事業、セキュリティなどの各分野において年初計画に比べ計画未達であり、依然として事業収入の拡大が課題と成っております。

(2) 会員の状況

新型コロナ対応の中、企業には訪問出来ずメールで協会の魅力を伝えられない状況が続きました。またコロナの影響もあり目標の新規会員を増やす事が出来ず新規会員2社となりました。結果、脱会企業もありましたが、会員数は63社となり会員数は2社増えております。

なお、RPA+働き方改革コンソーシアムの協会内活動への移行に伴い会員登録の移行をお願いし、次年度より3社が協会への新規加入と成ります。

(3) 会員交流（分科会活動）

2020年度は、DX時代の人材育成として「ビジネス・デザイン・スクール」を新たにスタートさせ、12分科会を開催致しました。会員外の企業からも参加を頂きましたが、コロナの影響もあり分科会参加者は減少しました。

(4) セミナー・研修

2020年度は、単独セミナー、共催セミナーを合わせて14回のセミナーを開催しました。コロナ蔓延に伴い、予定しておりましたCALPOLY海外エクゼクティブセミナーを中止した為、代替えセミナーとして「米国現地からシスコにおけるリモートワークセミナー」、「米国現地からリーダーシップがコロナ危機を乗り越えるCALPOLYセミナー」を実施しております。

尚、これらの活動内容は、HP似て報告しておりますのでご参照願います。

(5) 調査研究

公益財団法人JKA（競輪、オートレース）に次年度（2021年度）計画として、「基本業務知識教育プログラムの開発」の自転車等機械振興事業に関する補助金申請を行いました。採用に至りませんでした。

(6) 企業の課題解決のためのコンサルティング（IT コンシェルジュ）

「自分の立場に立って、一緒に考えてくれるようなコンサルティングを望む」ニーズがあると

考え、売り込みを行い、現在1社のIT全般コンサルティングを実施してきております。

(7) 新商品、新サービスの紹介、開発

以下の内容について検討を行って来ております。

1 ; VCI-DM(VisualCenter1for Document Management)

2025年の崖を乗り越えるための設計・保守・運用で使うドキュメントとプログラムとをつなぐツールとして検討してきましたが、マイブレイク・ライブラリーとして別手法も含め検討を続けています。

2 ; Data Analysis Club (DAC)

JEEDによる公開セミナー実施に向け、独自のカルキュラムを作成中

テーマ 「EXCEL データ分析&センサーによるデータ自動入力」

3 ; DX時代を迎え「ビジネス・デザイン・ポート構想」を新たな展開として検討してきております。

第一弾として「ビジネス・デザイン・スクール」を新たに実施いたしました。

* 「デザインポート構想」とは;新しいビジネス企業、新しいテクノロジー、企業内起業家、志のある人材などが、集まれる「場」提供し、貿易港のような活気ある街を仮想的につくる構想。
ここから変化に立ち向かっていく機運を高める。

(8) RPA+働き方改革コンソーシアム活動支援

2018年6月に協会内別組織として発足しました「RPA+働き方改革コンソーシアム」は、RPAも多くの企業で導入されツール自体に関する興味は急速に薄らいできました。一方、活用に関しては依然、いろいろな悩みもありますが、これもRPAツールに関わる、というよりは、広く業務改革であり、働き方改革に関わる関心へと変化してきております。このような内容は、ABC協会としても取り組んでいく内容と成りますので、独立体としての活動からABC協会内の活動へと移行することとし、2021年2月の臨時総会にて移行承認を経て、2021年4月より運営変更しております。

(9) その他

細川副会長が「日本隆盛論」を電子出版し、会員の皆様にも配布をさせていただきました。

またこの内容は、ソフトロード社と共同で全6回のYoutube動画として配信しました。これはABC協会のホームページより閲覧可能ですので、是非ご覧頂ければと存じます。

以上ご報告の通り、5年目を迎えた協会活動は、新型コロナ影響を受け大きく活動の行い方を変化させておりますが、何とかこれを乗り越え、活動の焦点を絞っていこうと努めてまいります。

2. 決算報告書 (計算書類)

3. 監査報告

(内容は省略させていただきます)

第2号議案 2021 年度事業計画、および予算案

1. 2021 年度事業計画

(1) 全般の取り組み

2021 年度は、“アフターコロナ”と言われている様にリモートワークを基本とする働き方へチェンジしていかなくてはなりません。そして同時に、世の中を変えてゆく Disruption (破壊的創造) が益々顕在化してゆく年にもなると考えます。更にこれらに加え、日本においてはこれから迎える「労働人口減」というマイナス影響へも対処していくことが求められます。どうこの流れに対処してゆくのか、未来を見据えた対応を描き、行動していかなくてはならないと考えます。

そこで引き続き、「Disruption への対応」をメインテーマに掲げ、これへの具体的対応施策を皆様と共に考え、対応を試行し、次の時代へと飛躍を遂げて行く活動を中心に据え、取り組んでいきたいと思っております。特に ABC 協会では、既存の日本の強みを生かしたビジネスモデルの変革を推進していくことに集中していきます。

重点施策

- 1 組織風土変革・DX 人材育成
- 2 ビジネスプロセス生産性の向上
- 3 協会のビジネス活動
- 4 協会の基盤強化

また 2021 度からは独立していた「RPA+働き方改革コンソーシアム」の活動を ABC 協会と統合し一体化により、これを一層、推進していきます。

是非、皆様からのご意見、サポートをお願い致します。

重点施策

2021 年度は、以下の重点施策と継続施策に注力してまいります

1. 組織風土変革・DX 人材育成

(1) ビジネス・デザイン・ポート構想

これからのデジタルワールドに向けビジネスを“リボーン(再生)”する、或いはプロデュース出来る人材の育成に向け、以下の施策を行う

- BtoB として研究会活動
- ・企業内で実践力を習得するコーチングプログラム「DX を推進していく実践力アカデミー」
 - ・ビジネスを再デザインする人材育成 (イントラプルナー) を目指す「ビジネス・デザイン・スクール」をさらに推進
- BtoC としてコラボ環境
- ・同じ課題を持った有識者との研究調査プロジェクト NFBC、22 世紀学会、ITHRD、キャリア研究会など他の協会活動と協調し推進してゆきます
 - ・過去の研究会に参加した OB を対象に「BDP コミュニティ」の開催。それぞれのテーマを持ちより発表、広い知見、アイデアを得る場を提供する

*BDP コミュニティ：ビジネス・デザイン・ポート・コミュニティ

(2) 協会ならではの特徴あるメニューを作成し、個々の企業に合わせたプログラムを提供して Disruption に対応できる人財の育成を図っていきます。

また、広く Disruption の影響を理解促進させてゆきます。

- ・ハイパーエクセレント研修

経営者向け、利益を上げるための管理、要件定義の従来のプログラムに加え、

リモートワークでの課題であるコミュニケーション、ストレス対応など新プログラムを拡充させ、サポートしてゆきます。

- ・ポジティブ組織研修
心理的安全性などチーム内の意識を高める、チームワークを高め組織のパフォーマンスを高めるプログラムを拡充させサポートしてゆきます
- ・企業診断
社員の意識、企業の文化を、定量定性的にアンケートを実施し、企業の診断を行い企業風土の変革のサポートをしていきます。

(3) 研究会内容の Disruption 対応研究への集中

- ・これまでの研究会の切り口から、Disruption にどう対応していくのか？を取り上げて、「これから」に真に役立つ研究会検討内容としてゆきます。

(4) Zoom 会議を活用した運営を促進し、海外企業、大学とのコラボ、地方企業への展開・サポートを強化していきます。

2. ビジネスプロセス生産性の向上

(1) 将来対応を見据えた働き方改革の検討、知見の共有化

RPA などの新 IT ツールも活用しながら、如何に働き方改革を推進していくか、検討を進めていきます。

(2) リモートワーク推進のサポート（中小企業を想定）

- ・研究会からの知見を踏まえ、企業でのリモートワーク化を具体的にサポートしていきます。
- ・リモートワークのための Zoom と共に活用する新たなツール類の使い方の短期集中型研修（ブートキャンプ）

(3) システム開発における生産性の向上の研究

- ・システム開発での AI 活用により自動化ツール、AI 活用をおこない QCD の向上を図る研究会を発足

3. ビジネス活動

(1) エグゼクティブ・ビジネス海外研修の実施

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校の教授人より最新情報の授業の受講とあわせ現地の先行企業の経営経験者とディスカッションをとおして、Disruption（破壊的創造を起こす重要な人財である企業内起業家（イントラプルナー）の重要性を広める。

(2) 事業受託 国、協会よりの調査・研究業務の受託

Disruption を乗り越えて行く上で必要となる要件など、協会の持てる知見を活かした調査・研究の受託によりより広く協会の考えを広めていく。

(3) 企業サポート

多様な変革する中、企業における悩み・困り事への対処を客観的な視点で、未来の目標を一緒に描いていくことをサポートしてゆく。（企業診断、目標設定、サービスデザイン、バックキャスト思考）

DX 時代の中、中小企業において IT 活用人材不足を解消する IT コンシェルジェのサービスを拡大していく。

4. 協会の基盤強化

会員拡大、分科会活動について、リモート中心の新環境の中で拡充を図るべく、やり方を模索していく

- (1) 最新話題などのセミナー企画を通して、ABC 協会の活動を発信し、コンタクトを得る
- (2) 過去に研究会、セミナーに参加された方に、ABC 協会の活動の発信し、再度コン

タクトする

- (3) ABC 協会会員を中心としたご紹介による会員拡大を強化する
- (4) 協会活動を支えてゆく人財の拡充も必要である。

2. 2021 年度予算案

(内容は省略させていただきます)

第3号議案 理事全員任期満了につき21名選任の件

(ABC 協会ホームページ “役員紹介” をご参照願います)

第4号議案 監事任期満了につき2名選任の件

(ABC 協会ホームページ “役員紹介” をご参照願います)